

千葉県立博物館の事業に係る意見交換会 自己評価票

達成度（数値達成度のめやす）		自己評価	総合評価
達成	目標値≧100%	4	A
ほぼ達成	目標値≧80%	3	B
やや不十分	目標値≧50%	2	C
不十分	目標値<50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値≧75%	4
ほぼ達成	達成値≧65%	3
やや不十分	達成値≧50%	2
不十分	達成値<50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段：達成値	下段：目標値	値の説明				数値
I	取蔵資料の整理・保存 有効活用・調査研究	取蔵資料	1	博物館資料の受入等	元年度実績	2593件	4	A	
					資料総点数	2589件			
			2	資料の情報化・公開実績	元年度実績	2029点	4		
					前年度実績	1959点			
			3	資料の保守・管理の実施	元年度実績	50点	4		
					館設定元年度の目標	50点			
		取蔵資料の有効活用	4	館外貸出（外部機関等展示等）	元年度実績	2件	4		
					要望のあった件数	2件			
			5	館内利用（学術調査等）	元年度実績	9件	3		
					前年度実績	10件			
			6	著作物資料への利用（出版物掲載等）	元年度実績	2件	4		
					要望のあった件数	2件			
		調査研究	7	調査事業件数	件数	元年度実績	10件	4	
					館の計画	10件			
			8	共同調査事業件数	件数	元年度実績	0件	4	
					要望のあった件数	0件			
			9	研究成果の公開状況	論文研究報告	元年度実績	3件	4	
					館の計画	3件			
大項目Iの総合評価（A～D）						A			
博物館コメント	<ul style="list-style-type: none"> 企画展の成果を常設展示に活用し、展示を充実させる。 利用者の視点にたつてデータベースを整備・充実させる。 								

分類	大項目	中項目	小 項 目				達成 状況	総合 評価	備考		
			上段：達成値 下段：目標値		値の説明	数値					
II	入館者数と 来館者の満 足度	来館状況	1	博物館	入館者数	元年度実績	128,819人	2	B	災害や新型コロナウイルス感染症 流行により、イベント中止や臨時 休館が発生したため	
						前年度実績	165,900人				
			2	企画展（事業名） （潜水）	入館者数	元年度実績	10,641人	4			
						前年度実績	10,460人				
		3	企画展（事業名） （プラネタリウ ム）	入館者数	元年度実績	14,886人	3				
					前年度実績	16,860人					
		4	ドームギャラリー 展（事業名） （南部潜りと千 葉）	入館者数	元年度実績	20,332人	4				
					前年度実績	13,641人					
		展示の充 実	5	常設展示	更新回数	元年度実績	3回	4			A
						館設定元年度の目標	3回				
6	企画展（事業名） （潜水）		実施回数	元年度実績	1回	4					
		前年度実績		1回							
7	プラネタリウム	実施回数	元年度実績	1回	4						
			館設定元年度の目標	1回							
総合的な 満足度	8	博物館	アンケート満足度 「とっても良かつ た」+「良かった」 の割合	元年度実績			A	満足度に係るアンケートは未 実施			
				9	企画展（事業名） （潜水）	元年度実績			94%	4	
				10	プラネタリウム	元年度実績			91%	4	
大項目IIの総合評価（A～D）							A				
博物館コメント		<p>・当館の来館者層は小学生以下の子ども同伴の家族が多いことから、企画展においても家族で観覧・参加できる展示・プログラムを開発・実施し、その結果として高い満足度を得ることができた。</p> <p>・産業・科学系の博物館として、いろいろな仕事の具体例を提示し、その仕事に就くためにはどのような進路があるのかを紹介するなど、キャリア教育（職育）を今後も充実させていく。</p>									
III	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	元年度実績	84%	3	B		
						前年度実績	100%				
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	元年度実績	0件	2			
						前年度実績	0件				
大項目IIIの総合評価（A～D）							B				
博物館コメント											
IV	広報活動の 積極的な展 開	広報情報 発信	1	HP等の情報発信	アップ数	元年度実績	431回	2	C		
						館設定元年度の目標	610回				
			2	HPでの利用状況	アクセス数	元年度実績	165,900件	2			
		前年度実績				213,829件					
		3	報道機関への情報 発信	取材報告件数	元年度実績	13件	2				
					前年度実績	25件					
大項目IVの総合評価（A～D）							C				
博物館コメント		<p>・HP上で事業の報告などを行い、来館していない方たちへ館の状況を伝える取組に努めた。</p> <p>・イベントの減少に伴いアクセス数は減少したと思われる。</p> <p>・引き続き情報提供に努めていく。</p>									

分類	大項目	中項目	小 項 目				達成 状況	総合 評価	備考	
			上段：達成値 下段：目標値		値の説明	数値				
V	学校及び地 域（関係団 体）との連 携・協働	学校との 連携	1	学校利用受入	学校数	元年度実績 109校	3	B		
					前年度実績 129校					
			2	入館者数	元年度実績 10473人	2	1年度：幼児1,973人を含む。 30年度：幼児2,218人を含む。			
					前年度実績 17316人					
			3	生徒・児童	入館者数	元年度実績 45850人				3
		前年度実績 47686人								
		4	博学連携（幼小中 高への出前講座 等）	学校数	元年度実績 12校	3				
				前年度実績 13校						
		5		利用者数	元年度実績 347人	2				
				前年度実績 536人						
地域関係 団体との 連携	6	団体数	元年度実績 35団体	4	B	地域との連携事業が、災害、新型 コロナウイルス感染症流行により 中止となった				
			前年度実績 29団体							
	7	連携・共催（大 学、NPO等）	利用回数	元年度実績 42回			2			
			前年度実績 54回							
	8		利用者数	元年度実績 49809人			2			
			前年度実績 70462人							
9	友の会活動	利用人数	元年度実績 139人	4						
		前年度実績 114人								
10	ボランティア活動	活動延人数	元年度実績 467人	2						
		前年度実績 599人								
大項目Vの総合評価（A～D）							B			
博物館コメント	・地域連携事業における新規事業が追加され好評であったことから、引き続き連携事業の充実に努める。									

分類	大項目	中項目	小 項 目				達成状況	総合評価	備考			
			上段：達成値 下段：目標値		値の説明	数値						
VI	教育・普及活動	来館状況	1	講演会	参加者数	元年度実績	110人	4	B			
						前年度実績	105人					
			2	講座	夢チャレンジ体験スクール	参加者数	元年度実績	265人		2		
							前年度実績	360人				
			3	クリスマス実験講座	参加者数	元年度実績	94人	2				
						前年度実績	136人					
			4	体験教室	光るスライムをつくろう	参加者数	元年度実績	582人		3	A	
							前年度実績	720人				
		5	体験教室	化石のレプリカをつくろう	参加者数	元年度実績	972人	4				
						前年度実績	846人					
		6	体験教室	スノードームをつくろう	参加者数	元年度実績	144人	4				
						前年度実績	142人					
		7	たんけん科学館	参加者数	元年度実績	630人	1	C	新型コロナウイルス感染症流行により、臨時休館のため中止			
					前年度実績	1694人						
		8	展示解説ツアー	参加者数	元年度実績	916人	2					
					前年度実績	1804人						
		総合的な満足度	9	講座	展示運営協会講演会 夢チャレンジ体験スクール クリスマス実験講座	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	元年度実績			100%	4	A
元年度実績										アンケート未実施		
元年度実績	100%						4					
12	体験教室		ふうせんスライムをつくろう 化石のレプリカをつくろう スノードームをつくろう	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	元年度実績						アンケート未実施	
					元年度実績				アンケート未実施			
					元年度実績				アンケート未実施			
15	たんけん科学館		満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	元年度実績					アンケート未実施			
				元年度実績					アンケート未実施			
16	展示解説ツアー	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	元年度実績					アンケート未実施				
			元年度実績					アンケート未実施				
17	利用状況	相談件数 (来館、メール、電話等)	利用件数	元年度実績	532件	3	B					
				前年度実績	623件							
大項目VIの総合評価 (A~D)							B					
博物館コメント	・体験教室は昨年度と同様、定員の上限を受け入れているが、実施方法の改善及び新たなプログラムの開発に努める。											

分類	大項目	中項目	小 項 目			達成 状況	総合 評価	備考		
			上段：達成値 下段：目標値		値の説明				数値	
VII	人材育成と 安全管理	実習 研修	1	博物館実習	元年度実績	14人	3	B		
					前年度実績	15人				
			2	教員等の研修	元年度実績	118人	4			
					前年度実績	87人				
			3	職場体験	元年度実績	25人	2			
					前年度実績	46人				
			4	インターンシップ	元年度実績	3人	4			
					前年度実績	3人				
		安全管理	5	研修会の開催	実施回数	元年度実績	0回		4	A
					館の計画	0回				
			6	防災訓練実施等	実施回数	元年度実績	2回			
					館の計画	2回				
大項目VIIの総合評価（A～D）						A				
博物館コメント	・教員等研修では、引き続きプログラミング教育など本館の特色を活かした研修項目等の内容の充実を図る。									
VIII	観光資源と としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	元年度実績	76団体	2	B		
					前年度実績	112団体				
					元年度実績	2133人			1	
					前年度実績	4569人				
			3	外国人来館入込	元年度実績	5団体	4			
					前年度実績	5団体				
					4		元年度実績		283人	4
							前年度実績		248人	
		大項目VIIIの総合評価（A～D）							B	
		博物館コメント	・当館における外国人来館者は、主に在日外国人である。 ・館内案内については、「ユニバーサルデザイン」などのわかりやすい表示の導入について検討する。							
		総合評価（A～D） [各達成度の平均]							B	
		総合評価と次年度 への対策	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館や、令和元年房総半島台風、その後の大雨被害など、来館を自粛させる災害や事業の中止があり、昨年度との数値比較による評価が適正かどうか判然としない。 次年度については、「入館者数」やイベント参加人数といった定量的な評価ではなく、「満足度調査」など定性的評価に重点を置く必要がある。 ハンズオン展示や、ライブの実験をメインに行ってきた当館にとって、「新しい生活様式」という新たな価値観が求められる中、利用者、従事者の安全を確保しながら、魅力ある科学館として、これまでとは違った展示方法や実験の上演を検討していく必要がある。 引き続き展示資料、収蔵資料については適切な維持管理に努める。 小規模ではあるが常設展示の充実に向けており、その内容の情報発信を行っていく。 今後、地域団体・学校団体等との協議の場を設けるなどし、「新しい生活様式」のなかでの連携事業の在り方について検討していく。 							